

「大学生の発達障害における自殺関連行動（質問紙調査）」

へのご協力をお願い

この文書は、「大学生の発達障害における自殺関連行動（質問紙調査）」の内容について説明したものです。この研究に参加されなくても不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。もし、おわかりになりにくいことがありましたら、どうぞ遠慮なく担当者にお尋ねください。

1. この研究の概要

研究課題

大学生の発達障害における自殺関連行動（質問紙調査）

研究責任者氏名・所属・職名

・渡辺慶一郎・東京大学相談支援研究開発センター精神保健支援室・准教授

研究従事者氏名・所属・職名（五十音順）

・大島亜希子・東京大学学相談支援研究開発センター・臨床心理士
・岡本百合・広島大学保健管理センター・教授
・佐藤武・九州大学キャンパスライフ・健康支援センター・教授
・田中生雅・愛知教育大学健康支援センター・教授
・苗村育郎・秋田大学・名誉教授
・伏見雅人・秋田大学・保健管理センター
・布施泰子・茨城大学保健管理センター・教授
・水田一郎・大阪大学キャンパスライフ健康支援センター・教授
・丸田伯子・一橋大学保健センター・教授

研究目的

本邦では、大学生年代を含む15～20代の死亡原因の第1位は依然として自殺であり、特に20代は死亡原因の約半分を占めていることが示されています。さらに、この年代のうち、自殺者全体の中に大学生が占める割合は徐々に増加しています。こうした現状を踏まえ、各大学では自殺防止に向けて様々な試みがなされていますが、殆どの試みは一般学生を対象にしたものです。

一方で、日本学生支援機構の悉皆調査によれば、高等教育を受けている学生のうち、発達障害がある学生の認知数が年々増えています。そして、代表的な発達障害である自閉スペクトラム症（ASD）では、自殺関連行動（希死念慮や自殺企図など）がやや高い割合で認められることが、以前から海外では指摘されてきました。

つまりこうしたリスクが比較的高い人たちの認知数が大学では増えている状況なのですが、診断されないグレーゾーンも含めて、ASD傾向がある学生がどの程度の割合で希死念慮を抱き、また自殺企図を行った既往があるかについては、本邦では未だ十分に分かっていません。そのため国際比較が可能な基礎的な資料もない状況となっています。本研究では、今後のASD学生の自殺対策を考える上で必要な情報を得ることを目的としています。

研究方法

自己記入式で無記名のアンケート調査です。本調査の主な目的としては、以下の3点があげられます。

- 1) 自閉スペクトラム症の傾向が高い人に自殺関連行動がどの程度あったかを明らかにする
- 2) 自閉スペクトラム症の自殺関連行動に関連する要因を明らかにする
- 3) これらの結果から、自閉スペクトラム症の自殺予防に資する基礎的なデータを
得て、今後の自殺対策に生かすこと

アンケートには、発達障害に関する質問、不安や抑うつに関する質問、自殺に関連した質問（7つ）が含まれます。回答には、およそ15分程度を必要とします。

2. 研究協力の任意性と撤回の自由

この研究にご協力いただくかどうかは、あなたの自由意思に委ねられています。一旦ご同意いただいた後でも同意を撤回して頂くこともできますが、回答が完全に匿名化された後は、あなたのデータを特定することが出来ませんのでご了承下さい。

3. 個人情報の保護

調査会社から個人が特定される情報を受け取ることはありません。それ以外についても、研究にあたってあなたに不利益が生じないように努力致します。また、匿名化した資料を共同研究機関で分析することもありますのでご了承下さい。

4. 研究成果の発表

研究の成果は、個人が特定されない形で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公表することがあります。

5. 研究参加者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、あなたに即座に有益な情報をもたらす可能性は、現在のところ低いと考えられます。しかし、この研究の成果は、今後の発達障害臨床のさらなる発展に寄与するための重要な基礎的成果となることを目指しています。

一方、考え得る不利益としては、質問紙には自殺に関連した内容が含まれています。それにより気分が不快になることが考えられます。事前に心配な方は研究参加の可否を再度ご検討下さい。万が一気分不快が生じましたら下記へ御連絡下さい。状況に応じて相談

や受診をお勧めします。

6. 資料・情報の取扱方針

あなたからいただいた匿名化データは本研究に用います。また、東京大学相談支援研究開発センター精神保健支援室において、研究成果の発表後少なくとも10年間は保存致します。

提供していただいた貴重なデータは、あなたの同意が得られた場合に限り、新たな研究のために当機関で用いたり国内外の機関に提供したりする場合があります。現時点では、将来の研究目的を知ることができませんが、提供する場合には匿名化された状態で提供します。また、改めて東京大学倫理審査専門委員会の承認を受けた上で利用や提供を行います。

7. あなたの費用負担

この研究に必要な費用を、あなたが負担することはありません。また、この研究に参加していただいても、東京大学から謝礼や交通費などの支給がないことをご了承ください。

(クロスマーケティング株式会社からの謝礼がある場合はその規定に依ります。)

8. その他

この研究は、東京大学倫理審査専門委員会において審査し、東京大学相談支援研究開発センターのセンター長の承認を受けて実施するものです。なお、この研究に関する費用は、科学研究費(17K04918)と運営交付金から支出されています。利害関係が想定される企業等で研究責任者や従事者あるいはその家族が活動して収入を得ていることはありません。ご意見、ご質問などがございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

連絡先

研究責任者 渡辺慶一郎
東京大学 相談支援研究開発センター 精神保健支援室
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
Tel: 03-5841-2578 E-mail: wwatanabe-tky@umin.ac.jp